

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

こんにちは、らくだです。

カクヨム放送局 Vol.4 を視聴したので簡単なレポートを。
今回は編集長が不在のため声優さんお二人による進行でした。

- ・ニコ生アンケート「オープニングテーマはこの曲で良いか？」
⇒はい 51.4 %、いいえ 7.4 %、どちらでも 41.2 %
- ・ビーズログ×カクヨム「恋愛小説コンテスト」開催の告知
- ・「ストライクウィッチーズ」関連ノベル公開のお知らせ
- ・ユーザー投稿作品の書籍化情報
- ・「今月の気になる!？」コーナー
高橋さん「寿司屋の元気な板前さん風に」
羽多野さん「苦しように」
というお題でそれぞれ気になった作品のキャッチコピーを読む
高橋さんは選んだ作品もお題も両方「寿司」繋がりでビックリ
- ・ジングルをエロく読む羽多野さん（そういう指定があったらしい）
- ・第2回カクヨム Web 小説コンテスト開催決定（応募要項は後日発表）
- ・秋の夜長におすすめ・恋愛&ファンタジー小説の紹介

内容としてはすでに発表済みの情報がメインでしたが、最近はカクヨムも展開が多いので、1か月の動きをまとめてチェックできるのは便利ですよ。

ちなみに次の配信は10月27日（木）21時～。
今回欠席だった編集長も次回は登場するようです。

その頃には新コンテストの詳細も出ているはずなので、次回も引き続きニコ生でチェックしたいと思います。

こんにちは、らくだです。

9月の賞に参加された皆様はお疲れ様でした。
10月も締切が多いですが頑張っていきましょう。

ちなみに自分は目標を見失って、何を書いているか、まったくわからない状態です（汗）

最終落ちて悔しいですね……。
1次落ちも悔しいですけど、それとは違った悔しさが……。

まあ落選はいつものことですし、今回のこの経験を自分自身の糧として、さらに大きく成長したいです。

それに最終といってもエッセイですからね。
横着しないで小説で最終に残れるように頑張ります。

さてさて。
話は変わりますが毎月恒例のpapier版の紹介を。

おかげ様で電子書籍の配信も 57 冊目になりました。

【らくだ図書館 (57)】
<http://p.booklog.jp/book/110139>

相変わらず落選続きで結果の出せない自分ですが、変に背伸びすることなく、ありのままの自分を発信していきたいと思います。

というわけで。
今後もらくだ図書館をよろしくお願い致します。

どうも！

えんための選評でセンスが古いと言われた常木らくだです！

いやまあ 100%事実なんですけれど（汗）

なんか最近ぼんやりと思うのですが、自分の投稿成績が年々右肩下がりは、若い感性を失いつつあるせいじゃないかなと……。

小説投稿を始めた頃と比べたら、8歳も成長したわけですからね。
それだけ歳を取った割に、残念ながら、精神年齢は低いんですが。

さてさて。

今回の話題はえんため大賞の総評について。

受賞タイトルはすでに発表済みですが、受賞者コメント・作品内容・編集者の選評など、具体的な情報が色々公開されました。

改めて受賞された皆様はおめでとうございませう！

【ファミ通文庫部門】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/18n.html>

【ビーズログ文庫部門】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/18gn.html>

少年系部門・少女系部門ともに、応募作はバラエティ豊かだったようですが、何を書きたいのかイマイチ曖昧な作品が多かったみたいですね。

「言うは易し」で実践するのは難しいですが、読者に何を伝えたい作品なのか、自分も執筆の際に気を付けようと思いました。

こんにちは、らくだです。

洗面所のシンクに水漏れが発生し、周囲一帯が水浸しになるという、トホホな水難を経験しました。

しかも洗顔中の出来事だったから、目を開けてみてビックリみたいなの。

さいわい階下には漏れませんでした。直るまで洗面所が使えなくて不便です。

さてさて。

その話とは全然関係ありませんが、ビーンズ最終発表がありました。

以下リンク。

最終選考に残った5本の中から、優秀賞2本が選ばれた模様です。

作品タイトルが気になっていた「ものすごい子犬に懐かれました」は受賞しなかったみたいですね……。

【発表ページ】

<http://www.kadokawa.co.jp/beans/awards/>

- ・ 応募総数 353 作
- ・ 1次通過 20 作 (約 5.7%)
- ・ 2次通過 8 作 (約 2.3%)
- ・ 3次通過 5 作 (約 1.4%)
- ・ 受賞 2 作 (約 0.6%)

受賞された皆様はおめでとうございます！

総評や受賞者のコメントについては、後日改めて公開されるようなので、引き続きチェックしたいと思います。

こんにちは、らくだです。

小説家になろうの新コンテストとして「TSUTAYA × リンダパブリッシャーズ第 1 回 WEB 投稿小説大賞」が開催されます。

公式サイトはこちら。

9 月 30 日に始まったばかりの賞です。

【公式サイト】

<http://www.redrisingbooks.net/taishou>

<要点まとめ>

- ・年に 4 回締切あり
- ・規定字数は 5 万字以上
- ・A コースはアニメ化想定、B コースは実写化想定
- ・A コースは男性読者を想定、B コースはその限りではない
- ・A コースの締切は 12 月 30 日、B コースの締切は来年 3 月 30 日
- ・受賞作は必ず書籍化されるが、映像化については確約ではない

イメージイラストの女の子！

そんな格好で剣に抱き着いたら危険だぞ！

まあ女戦士の露出度が妙に高いのは、ドラクエ 3 以来のお約束ですけどね。

とにかく映像化が期待できる賞なので、なろうに小説を掲載している作者様は、チェックしてみてもいいかなと思います。

以上、「TSUTAYA × リンダパブリッシャーズ第 1 回 WEB 投稿小説大賞（賞名長い……）」の紹介でした。

第2回お仕事小説コンの結果- 2016.10.06 Thu

こんにちは、らくだです。

今年は本当に台風が多いですね。

しかも変な動きをする台風が続出するという。

逆走したり停滞したり引き返したり、まるで自分の投稿生活のようで、なんだかちょっと泣けてきます（涙）

さてさて。

小説家になろうのコンテスト「第2回お仕事小説コン」の結果が発表されました。

受賞された皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<https://book.mynavi.jp/fanbunko/contest/award/>

- ・ 応募総数 420 本
- ・ グランプリ 1 本
- ・ 優秀賞 2 本
- ・ 特別賞 4 本
- ・ 楽ノベ文庫賞（電子書籍化） 28 本

というわけで。

電子書籍化も含めると 35 本もの作品が受賞した模様です。

総評を読んでも選考はかなり盛り上がったようですし、今後さらにお仕事小説の勢いが伸びそうな感じですね。

ちなみにこのコンテスト、第3回の開催も決定しているみたいなので、詳しい応募要項が発表されたらまた紹介したいと思います。

第2回カクヨム Web 小説コンテスト詳細発表- 2016.10.07 Fri

こんにちは、らくだです。

第2回カクヨム Web 小説コンテストの詳細が発表されました。

今回は部門ごとに応募要項がわかれているので、概要ページのリンクを下に貼っておきます。

【第2回カクヨム Web 小説コンテスト】

またこれに伴ってジャンルの再編成が行われます。

現段階では日程などの詳細は発表されていませんが、ジャンル変更の操作が必要になるので、コンテスト不参加のユーザーにも影響する問題かと。

【カクヨムのジャンル編成見直しを12月に行います】

ちなみに自分は今回は参加しません……。

過去2回コンテストに参加して思いましたが、読者選考で通過が決まるのはストレスマッハで、楽しさよりも苦しさの方が大きい気が。

(あくまで個人的な感想です)

(頂いた応援はもちろん嬉しく思っています)

というわけで。

カクヨム自体は今後も利用するつもりですが、書きたい時に書く感じで、マイペースに活動していければと思っています。

とはいえ読者として参加するのは楽しいですし、今回は書き手として参加しない分、読む方でコンテストを盛り上げていきたいです。

こんにちは、らくだです。

ようやく水漏れしていたシンクが直りました。
もうこんな事態にならないよう大事に使いたいところです。

さてさて。
電撃の最終結果が公式サイトに昨日掲載されました。

今年は 10 月 10 日が連休の月曜なので更新が前倒しになった感じですね。

以下リンク。
受賞された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://dengekitaisho.jp/announce_23_02.html

- ・ 応募総数 4,878 本
- ・ 1 次通過 661 本 (13.55 %)
- ・ 2 次通過 218 本 (4.47 %)
- ・ 3 次通過 81 本 (1.66 %)
- ・ 4 次通過 11 本 (0.23 %)
- ・ 受賞 8 本 (0.16 %)

受賞作の内訳は大賞 2 本、金賞 1 本、銀賞 2 本、MW 賞 1 本、奨励賞 2 本。

というわけで今回の MW 賞は 1 本ですが、ストーリー概要を読んだ感じ、「MW 枠かな？」と思える話が多いですね。

もちろん概要だけではわかりませんが、これらの受賞作が実際どんな内容なのか、刊行情報の発表を待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

コバルト関連の新情報もりもりあるので、しばらくコバルト三昧で更新していきます。

まずご紹介するのは新コンテスト。

その名も「泣けて泣けて、元気になる小説賞」です。

詳しい応募要項はコチラに掲載。

【泣けて泣けて、元気になる小説賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/cry_award/

- ・ 募集内容 読者が泣けて、泣けて、最後に元気が出て幸せな気持ちになる小説
- ・ 規定枚数 30～50枚（400字詰め原稿用紙換算）
- ・ 応募方法 ウェブ投稿のみ、郵送投稿は不可
- ・ 応募締切 2016年12月4日（日）
- ・ 賞金 5万円

ただ単に泣けるだけの作品ではなく、読んだ後元気になれるという部分がポイントで、その辺が選考で重視されそうですね。

ちなみに自分、泣ける小説は書けません……。

落選したり締切に間に合わなくて泣いたことはあるんですけどね。

お前が泣いてどうするって話ですね。

とにかく規定枚数も手頃ですし、応募締切もまだ2か月ほど先なので、ご興味のある皆様はチェックしてみتهいかがでしょうか。

以上、「泣けて泣けて、元気になる小説賞」の紹介でした。

あらすじ大賞の結果 - 2016.10.10 Mon

常木らくだです。

今回も引き続きコバルトの話題です。

先週のサイト更新時に投稿企画「あらすじ大賞」の結果が発表されました。

応募数はなんと 260 本もあったとか。

受賞された皆様はおめでとうございます。

さっそくチェックしてきましたが、カバー裏のような体裁が粋ですね。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/arasuzi/>

明らかに「ネタだろ！」な作品や、普通に読んでみたい作品などなど、内容も非常にバラエティ豊かです。

個人的に気になったのはハエの話。

最後の「見せてやる」が力強くて妙にツボです。

あとはカッパの話も気になりました。

頭のサラが破裂するとか、かわいそうだけど面白い。

それにしても、どの作品も発想力が凄いですよね。

本文なしであらすじだけ応募なんて、逆に難しいような気がしたんですが、自分も想像力が掻き立てられました。

今のところ同じ企画の再募集はないですが、もしまたコバルトで同様の賞があったら、自分も是非チャレンジしてみたいと思います。

皆様こんにちは。

今回も引き続きコバルトの話題です。

ウェブコバルトの連載企画「小説を書くためのプチアドバイス by 三浦しをん」が更新されました。

今回のお題は短編小説の構成について。

前編となっているので、次回へ続くみたいです。

【第3回小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/000787/>

小説の内容を考える際、

「1・登場人物の会話、置かれたシチュエーションなどが思い浮かんでいる」

「2・登場人物に関しては曖昧で、むしろ「ある感情」だったり、作品の雰囲気や主題のようなものだったり
が思い浮かんでいる」

作者の傾向をこの2パターンに分け、それぞれの対処法が語られています。

ちなみに自分は圧倒的に1。

2だったケースは一度もありません。

小説を書く理由は「こういうキャラクター書きたい」なので、ストーリーがスッカスカで、評価シートでいつもその点を指摘されてしまうんですよね。

まあキャラクターから先に考えて、その上でストーリーも上手い人だって多数いるわけで、決して言いわけはできませんけど。

とにかくプロのアドバイスが聞けるのは貴重ですし、少女小説以外にも当てはまる内容なので、まだの方はチェックしてみてもいいかもしれません。

「あなたの街の物語」コンテスト- 2016.10.12 Wed

こんにちは、らくだです。

かなり今さらではありますが、『シン・ゴジラ』を観てきました。

小さいスクリーンでしかも端の席だったんですが、それでも凄い迫力で、ゴジラのテーマソングが頭の中から離れません。

さてさて。

今回の話題はカクヨムの新企画について。

従来コンテストとは趣向が違う、新しい企画が開催される模様です。

【「あなたの街の物語」コンテスト】

<https://kakuyomu.jp/anatanomachi/>

- ・ 募集内容 日本国内のどこかの街を舞台にした物語
- ・ 規定字数 2000 字程度
- ・ 受付期間 2016 年 10 月 14 日（金）～2016 年 11 月 30 日（水）
- ・ 入選作品 作品集にまとめ全国各地で配布 & 英語や中国語に翻訳し世界へ発信

「本プロジェクトは、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の委託により、平成 28 年度オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査として実施しています」

今回のコンテストのユニークな点は、「その街の魅力をアピール」という条件さえクリアすれば、小説でもエッセイでもいいという部分。

日本の街が舞台といえ、ゴジラもそうですけどね。

とはいえメチャクチャに破壊されるので、魅力をアピールって感じではないですが。

とにかく文字数も 2,000 字と短めですし、オリンピック・パラリンピックに向けた文化的な企画のようなので、自分もネタを考えてみようと思います。

こんにちは、らくだです。

今週から急激に肌寒くなりましたね。

季節の移り目で気候が不安定ですが、風邪などには注意したいところです。

さてさて。

第 184 回コバルト短編賞の結果が、先週の金曜日に更新されました。

今回は入選 1 本、最終選考 3 本。

それから「もう一步の作品」が発表されています。

お名前のあった皆様はおめでとうございます！

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no184/>

何度も繰り返し言っていますが、コバルト短編賞のいいところは、作品と選評を一緒に読める部分。

特に今回は選評が長め（ですよね？）で、色々と勉強になる部分が多かったです。

それにしても全体的に、コバルトは活発ですよ。

短編の賞も長編の賞もあるし、単発の投稿企画も多いです。

今までは雑誌を買っていたわけですが、今はウェブ化したお陰でいつでも簡単に（しかも無料で）情報を閲覧できるので、今後も楽しんでいきたいと思っています。

というわけで。

数日間コバルトの記事が続きましたが、明日からは他の話題に移る予定です。

こんにちは、らくだです。

幻冬舎×テレビ朝日× pixiv による新しいコンテスト、その名もピクシブ文芸大賞が開催される模様です。

詳細は下記リンクをご覧ください。

【ピクシブ文芸大賞（概要）】

<http://bungei.pixiv.net/>

【ピクシブ文芸大賞（応募要項）】

http://www.pixiv.net/novel/contest/pixiv_bungei/terms

- ・ 募集内容 ジャンル不問
- ・ 規定字数 8万～20万字程度
- ・ 受付期間 2016年10月27日～2017年3月31日
- ・ 大賞作品は幻冬舎で書籍化&テレビ朝日で映像化

ちょっとよくわからないのですが、新しい小説投稿サイト「ピクシブ文芸」が10月27日にオープンする、という認識でいいんでしょうかね。

もしそうなら、これは朗報かと。

pixiv はそもそもイラスト投稿サイトなせいか、小説については少し読みにくいと感じていた（表示形式とか）ので、文章に特化したサイトが出来たら嬉しいです。

ただしコンテスト参加作品の投稿は、従来の pixiv を利用するみたいですね。

この辺の詳細がまだよくわからないので、詳しい情報が出たら、その際にまた改めて紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

10日遅れの話（汗）ですが、第5回集英社ライトノベル新人賞の4次結果が、公式サイトに掲載されました。

いや、その！

近ごろ投稿界隈の動きが多いから、紹介が遅くなってしまうんですよ！

（見苦しい言い訳）

何はともあれ通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx5thAward/result.html>

- ・ 応募総数 681 本
- ・ 1次通過 138 本（約 20 %）
- ・ 2次通過 27 本（約 4 %）
- ・ 3次通過 9 本（約 1.3 %）
- ・ 4次通過 2 本（約 0.3 %）

ちょ、待っ、2本で……（白目）

冷静に通過数&通過率を確認すると恐ろしいですが、そもそも簡単にデビューできる賞なんてないですし、その2本に残れるくらいの作品を書きたいですね。

ちなみに集英社ラノベといえば、10月締切分に自分も応募しました。

公募は春のえんため以来という、かなり久し振りの挑戦ですが、通過するといいなぁと思います。

全日本フィギュアの先行抽選スタート！
さっそくチケット申し込むぞオラァァァ！

と思いつつチケットぴあを見たら、4日間通し券は電子チケット（スマホのみ入場可）で、ガラケー民のワイ低みの見物。

これガラケー差別だわ……。
まあこの為に格安スマホ買ったけどさ……。

とまあそういうわけで、わざわざスマホを買ってまで全日本の通し券（抽選）に申し込んだので、絶対当選して欲しいです。
（これで落選したら相当ショック）

さてさて。
全日本は12月末でまだ先ですが、ついに今週末、グランプリシリーズが始まります。

下記リンクはテレビ朝日の特設ページ。
出場選手や放送日程などの情報は、こちらで確認することができます。

【グランプリシリーズ特設ページ】
<http://www.tv-asahi.co.jp/figure-gp/2016/>

最初はアメリカからスタートですが、さっそく浅田選手や宇野選手が登場しますし、新プログラムなども楽しみですね。

まずはこのグランプリ2試合でいい演技をして、ファイナルや年末の全日本へ繋げて欲しいです。

ちなみに全日本のチケット抽選は、22日（土）結果発表なので、ドキドキしつつ待ちたいと思います。

電撃の選評到着日 - 2016.10.17 Mon

こんにちは、らくだです。

毎年この時期になると、「電撃・評価シート・いつ頃」という検索が急増するので、過去のデータを再掲載。

該当の皆様！

発送は基本的に11月なので、まだ焦る必要はありません！

【電撃の選評到着日（常木らくだ調べ）】

- ・ 第16回（2009年）・・・11月18日（水）
- ・ 第17回（2010年）・・・11月1日（月）
- ・ 第18回（2011年）・・・11月4日（金）
- ・ 第19回（2012年）・・・11月5日（月）
- ・ 第20回（2013年）・・・11月11日（月）
- ・ 第21回（2014年）・・・11月10日（月）
- ・ 第22回（2015年）・・・11月13日（金）
- ・ 第23回（2016年）・・・？

というわけで。

過去7回分のデータを見た感じ、11月の2週目ごろには届くかと。

ちなみに今回からウェブ応募が始まって、その場合は選評もインターネットでの閲覧になるので、郵送を待つより少し早いかもしれませんね。

あとインターネットで選評を見る場合、翌年の締切までに投稿がなかったアカウントは削除されるので、印刷保存しておくといいかもしれません。

（削除条件の詳細は[公式 Q&A](#) の末尾に記載）

以上、電撃の選評到着日に関する情報でした。

自作ゲーム部門の最終候補- 2016.10.18 Tue

こんにちは、らくだです。

先週集英社ラノベに投稿したと書きましたが、レタパの追跡番号をチェックしたら、お渡し時間が早朝の6時になっていました。

早朝出勤か徹夜明けか……。

いずれにせよ出版業界は激務ですね……。

さて本題。

えんため大賞の自作ゲーム部門の最終候補作品が発表されました。

【発表ページ】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/select/18th_gamebuild_2nd.html

- ・ 応募総数 44 作品
- ・ 1次通過 13 作品 (約 30%)
- ・ 最終候補 7 作品 (約 16%)

最終結果の発表は 11 月上旬。

どの作品が選ばれるのか楽しみです。

それからえんため大賞といえば、次回のウェブ受付が、早くも先月から始まっています。

【えんため大賞・応募フォーム】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/caution.html>

締切は来年の4月なのでまだかなり先ですが、投稿予定の方々は応募直前に慌てないように、アカウントを作っておくといいかもしれません。

以上、えんため大賞自作ゲーム部門の話題でした。

ファンタジア大賞の1次発表- 2016.10.19 Wed

こんにちは、らくだです。

近ごろ朝晩は冷え込みますが、日中外に出ると意外と暑かったりして、服装に困ってしまう毎日です。
(ヒートテックで外出して汗だくになった奴)

さてさて。

富士見ファンタジア大賞(第30回前期)の1次発表がありました。

ファンタジアはメンテ日程を事前に公開してくれるので、あらかじめ発表日&発表時間がわかっていいですよ。

何はともあれ通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://www.fantasiataisho.com/contest/30th_first.php

- ・応募総数 602本
- ・1次通過 122本
- ・通過率 約20%

今回は2作通過だけでなく3作通過の方も複数いました。

それだけ執筆スピードが早くて、しかも全部が1次通過するクオリティなんて、羨ましいし見習いたい限りです。

ちなみに2次発表は11月下旬。

今回はお名前を知っている方も結構いるので、自分は送っていませんが、今後の発表を楽しみに待ちたいと思います。

第 5 回ネット小説大賞開催決定 - 2016.10.20 Thu

こんにちは、らくだです。

第 5 回ネット小説大賞（旧なろうコン）の開催が決定しました。

最近ネット小説の賞が凄いスピードで急増していて、「ワケがわからないよ！」状態の方も多いと思いますが（自分もそう）、なろうコンはその中でも最大規模のコンテストです。

参考までに前回の応募数は 7,612 本。

つまりあの電撃大賞より多いわけで、その勢いはますます加速しそうです。

【第 5 回ネット小説大賞】

<http://www.cg-con.com/novel/>

- ・ 受付期間 2016 年 10 月 21 日～2017 年 2 月 1 日
- ・ 募集内容 ジャンル不問、文字数不問、未完結でも OK
- ・ 応募方法 なろうに小説を掲載して『ネット小説大賞五』のキーワードを設定
- ・ 選考方法 応募作品すべてを精読の上選考、ポイント 0 でも通過の可能性あり
- ・ 二重応募 基本的に禁止だが『モーニングスター大賞』とは重複応募可能
- ・ あらすじ 今回からあらすじ不要、小説本文のみで応募可（Q&A の情報）

自分はなろうコンの参加経験はないのですが、魅力的だと感じる部分は、ポイント 0 でも通過の可能性があるとこの点。

ただ単に応募要項にそう書いてあるだけでなく、毎回ポイント 0 の作品が実際に通過してますし、ちゃんと読んで選考してくれているんだなーと。

ネットの賞はランキング至上主義の場合が多いですからね。

応募作品をすべて精読って、一見当たり前のようですが、実はありがたいと思います。

とにかくそういうわけで今回はネット小説大賞の紹介でした。

「カクヨム」と「ニコニコ自作ゲームフェス MV」が夢のコラボ！

というわけで。

近ごろ動きが活発なカクヨムから、また新たな企画が発表されました。

【詳細ページ】

https://kakuyomu.jp/special/entry/niconico_indies_game

ニコニコ自作ゲームフェス MV は、ゲームクリエイター向けの企画です。

ただし今回はカクヨム協賛ということで、書き手として参加することもできるとか。

簡単に言うと、

1. ゲームクリエイターとして参加

カクヨムに掲載された小説作品を、RPG ツクール MV でゲーム化して応募

2. カクヨムユーザーとして参加

自分の小説に「ゲームフェス原作対象」のタグを入力

クリエイターさんの目にとまった場合、その作品のゲームを作ってもらえるかも

つまり、「アタシの小説おもしろいでしょ？ ゲーム化してくれていいのよ？」という場合、受付期間中に該当タグを貼っておけば、クリエイターさんがその作品のゲームを作ってくれる可能性がある……ということですね。

それにしても。

前回のオリンピック向け企画といい、カクヨムは多方面とコラボする気が。

これから先どんなコンテストが出てくるのか、ワクワク期待しつつ、引き続き情報を追っていきたいと思います。

落選しました（泣） - 2016.10.22 Sat

こんにちは、らくだです。

全日本フィギュアの抽選結果ですが、メールの内容はこういう文面でした。

「厳正な抽選を行いました結果、残念ながらチケットをご用意することができませんでした。ご理解、ご了承くださいますようお願いいたします」

了承できるか！

このスマホどうすんだよ！

というか今にして思えば、この為にわざわざスマホを買った時点で、強力な落選フラグが立っていたような気がします。

いいもん……。

ゲーム専用のスマホにするもん……。

というわけで（？）今回はコメントレスです。

【遅くなりましたが誕生日おめでとうございます】

ありがとうございます！

読者の皆様に支えられ、今年も一年頑張ります！

【また一次落ちしたよ！ 一緒に富士見書房を襲撃しようぜ！】

襲撃したらアカン！

てかこっちは富士見送ってないし！

【ブログ、いつも励みにさせていただいております！ お返事はなくて大丈夫です。何だか、いつも一方的にコメントを送る形になっており、申し訳ありません；】

いつも応援ありがとうございます！

お返事できない場合も多いですが、コメントはブログ更新の活力になるので、是非ともたくさん送ってください！

真田丸特別展 - 2016.10.23 Sun

皆様こんにちは。

今回は久し振りにお出掛け記事です。

大阪歴史博物館で開催中の「真田丸特別展」へ行ってきました。



会場の最寄駅には、ポスターやのぼりが。

そういえばこの駅（谷四）は、大阪城の最寄駅でもあります。

地下道から出ると立派な建物がありました。

ちょっと曇っていて残念ですが、あれが目的地の歴史博物館です。



ちょ、待って！

近付いてみたら、ものすごい行列！

と思って焦りましたが、隣接の NHK ホールで C-ute のライブがあるようで、長蛇の列はその待機列でした。

恐るべし℃-ute……。

恐るべしハロプロ……。



気を取り直していざ中へ。

会場はそこそこ混んでいましたが、ぎゅうぎゅうに押し合うほどではなく、割とスムーズに見て回れました。

こちらはロビーの様子。

ここから6階の展示会場へ、エレベーターで上がります。



会場は撮影不可なので写真がありませんが、諸大名直筆の手紙・生活用品・貴重な武具や屏風など、とても充実した内容の展示品の数々でした。

それから豊臣ゆかりの刀ということで、某ゲームにも登場する、骨喰藤四郎の現物展示もありました。
(本物と写しが並んでましたが、どちらもすごくキレイだった)

それにしても、思うんですが。

真田丸もそうですが、歴史作品の場合視聴者は結末を知っているのに、それでも毎回面白く見せるってスゴイことじゃないでしょうか。

会場の様々な展示品を見つつ、いつか自分もそんな作品を書きたいなあ、なんていう夢が広がりました。

なか卯×艦これコラボ - 2016.10.24 Mon

真田丸特別展を見た後は、オタクの聖地・日本橋へ。

現在なか卯と艦これがコラボしてますが、日本橋にラッピング店舗があると聞き、どんな感じなのか見に行ってきた。



あったぞー！

あの店舗を襲撃だー！

場所は日本橋3交差点の角。

高島屋別館の向かいのところです。



店の前に看板がありました。

島風の手描きイラスト付き。

店員さんの中に艦これファンがいるんでしょうか。



こちらは店内のラッピングですが、ちょうど外から光が差し込んで、金剛さんが何だか神々しい雰囲気。

ちなみに現在なか卯では、大盛牛丼などの対象メニューを注文すると、艦これカードが貰えます。

今回貰ったのは右下の天城でした。

ゲームでは未所持なんですけどね天城。



これまでの戦果は7キャラ。

ただのカードかと思いきや、実物は3D仕様で立体的です。

以上、なか卯×艦これコラボの話でした。

このカードを見ながら秋刀魚集めを頑張ろうと思います。

こんにちは、らくだです。

皆様ご存知の通り自分はへっぽこ投稿者ですが、長らく投稿ブログをやっているせいか、他の投稿者さんから悩み相談を受けたりします。

中でも圧倒的に多いのは、

- ・結果が出ない
- ・やめようか迷っている
- ・ツライ、苦しい、書くのが苦痛

というネガティブな相談。

小説投稿は厳しい道のりですから、それも仕方ないことだと思います。

しかしある時、気付きました。

そういう悩みを持っている人は、実は全然ネガティブじゃないと。

そもそも何故悩むかっていうと、「やめたい気持ち」と「続けたい気持ち」が、両方あるからじゃないでしょうか。

逆に言うと、「続けたい気持ち」がゼロの人は、悩みません。

投稿なんてどうでもよくなって、意識にすらのぼらないですからね。

というわけで。

投稿をやめたくて悩んでいる人は、「私にはこんなに続けたい気持ちがあるんだ」という風に、悩んでいる自分自身を肯定的に捉えたらいいんじゃないかと。

頑張ったから結果が出るとは限りませんが、それでもせっかく出会えた世界ですしね。

続けたい気持ちがゼロにならない限りは、悩みながら続けるのもいいと思います。

こんにちは、らくだです。

本日は集英社ライトノベル新人賞の話題です。

まずは第5回の最終結果について。

今回の受賞者は一人だけで、そこが少し残念ですが、受賞おめでとうございます。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx5thAward/award.html>

そして同時に次回の応募要項が発表されました。

規定枚数などは今までと一緒ですが、大きくリニューアルしている模様。

【応募要項】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/detail.php>

主な変更点は、

- ・ 賞の内容（名称や賞金など）の変更
- ・ 紙原稿の受付終了、ウェブ応募のみに
- ・ 今まで希望者全員だった選評が、1次選考通過以上に変更される
- ・ 応募の際は下記9ジャンルの中から2ジャンルを選択
(ファンタジー、バトル、青春、日常、ラブコメディ、コメディ、ギャグ、SF、その他)

ウェブ応募への変更は時代の流れだと思いますが、選評が全員ではなくなってしまうのが正直残念。

特に自分は1次落ち常連ですからね。

この変更はモロに影響受けちゃいます……（涙）

なんて泣き言をここで言っても仕方がないので、1次通過する作品が書けるよう頑張りたいです。

自作ゲーム部門の最終結果- 2016.10.27 Thu

こんにちは、らくだです。

コメントをくださった馨さん、どうもありがとうございます。

自分はただ日記を書いているだけですが、この「らくだ図書館」という場所が、少しでもお役に立っているなら幸いです。

さてさて。

えんため大賞自作ゲーム部門の最終結果が発表されました。

11月上旬発表予定とありましたが、選考が早く済んだんでしょうかね？

【発表ページ】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/select/18th_gamebuild_3rd.html

- ・ 応募総数 44 作品
- ・ 1次通過 13 作品 (約 30%)
- ・ 最終候補 7 作品 (約 16%)
- ・ 受賞作品 6 作品 (約 14%)

最終候補が7本で受賞が6本って、落ちた方は、さぞかし悔しいことでしょう…… (汗)

ちなみに総評などは、後日公開されるとか。

自作ゲームは未知の世界なので、詳しい総評を読むのも楽しみです。

それにしてもカクヨムも自作ゲームの企画とコラボしてますし、少し前にはスマホゲームのシナリオコンテストもやりましたし、最近ゲーム関連の企画やコンテストが増えているような気が。

これをキッカケに小説投稿の世界も、どんどん盛り上がって欲しいです。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催中の「あなたの街の物語コンテスト」ですが、企画をさらに盛り上げる特設ページが公開された模様です。

今のところ下記2ページが存在。

【★獲得数ランキング】

https://kakuyomu.jp/special/entry/anatanomachi_ranking

【投稿おまちしています！ 大募集中の10県】

https://kakuyomu.jp/special/entry/anatanomachi_01

<上記ページに載っている投稿数が少ない県>

山口県、沖縄県、熊本県、島根県、高知県、佐賀県、長野県、鳥取県、徳島県、香川県

多い県の紹介ならいいんですが、こうして少ない県をまとめられると、何とも言えない気分になります。

ああ……。

こういうリストに必ず載ってしまう島根県……。

(実は自分は島根生まれ！)

それにしても沖縄は意外かも。

県の魅力も紹介できるポイントも、多数ありそうな気がするんですが。

とにかく公式サイトいわく、「少ない県だと都道府県検索で目立てる」らしいので、狙い目かもしれませんね。

以上、「あなたの街の物語コンテスト」特設ページの紹介でした。

皆様こんにちは。

今回も引き続きカクヨムのお話です。

10月26日に「漫画原作小説コンテスト」の最終結果が発表されました。

情報を追っていませんでしたが、応募総数はなんと2,000本以上で、大盛況だったみたいですね。

以下、発表ページへのリンク。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/shonenace_contest/result

- ・ 応募総数 2,336 作品
- ・ 1次通過 30 作品
- ・ 最終候補 4 作品
- ・ 大賞作品 1 作品

ん？

この大賞の作者さんってプロですよね？

2,336本の頂点に選ばれる実力は素晴らしいと思いますが、投稿者の立場からすると、「ワナビのために席を残してくれ〜」って気もするような……。

と思ったら講評にその件が書いてありました。

議論にはなったものの、それでも面白いから受賞なんて、さすがという感じです。

とにかくこれだけ応募数があったわけですし、総評にも「漫画原作というジャンルに手ごたえを感じた」と書いてあるので、是非とも第2回に続いて欲しいところです。

オーバーラップの1次発表- 2016.10.30 Sun

常木らくだです。

ここ数日で急激に寒くなってきましたね。

近畿地方では昨日こがらし1号が吹きましたが、風邪などの体調不良には注意したいところです。

さてさて。

先日オーバーラップ（8月締切分）の1次発表がありました。

【発表ページ】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/2016/announcement.aspx>

- ・応募総数 238 作品
- ・1次通過 39 作品
- ・通過率 約16%

あれ？

去年より応募数だいぶ減った？

と思って過去のデータをチェックしたら、去年は募集期間が6か月（今年は3か月）なので、それで減ったように見えるわけですね。

- ・2015年度第1ターン（6か月） 386 作品
- ・2015年度第2ターン（6か月） 357 作品
- ・2016年度第1ターン（3か月） 137 作品
- ・2016年度第2ターン（3か月） 238 作品<今回>

オーバーラップさんは何を送っても落ちるので、自分は投稿をやめてしまいましたが、発表は引き続きチェックしていこうと思います。

こんにちは、らくだです。

今日で10月も終わりですね。

月末の賞へ投稿された皆様はお疲れ様です。

さてさて。

今年も小説家になろうの公式企画、「冬の童話祭 2017」が開催されます。

詳しい応募要項は12月1日（木）発表ですが、それに先立って、概要を説明する特設サイトが登場しました。

【冬の童話祭 2017】

<http://marchen2017.hinaproject.com/>

今年のテーマは「季節廻る国の童話」。

ということで本企画用の設定が用意されています。

簡単に言うと、

- ・あるところに春夏秋冬それぞれの季節を司る女王様がいた
- ・冬の女王様が塔に閉じこもって冬が終わらなくなってしまった
- ・春の女王様と交代させて季節の循環を取り戻したい！ その為には……

この続きを各々が書くわけですね。

シンプルでありながら色々と想像が膨らむ設定です。

ちなみにこの設定の使用は強制ではないので、「もう他に案があるよ～」という場合、オリジナルの童話で参加してもいいようです。

詳細は上に載せた公式サイトにあります。ページ自体も絵本チックで素敵なので、皆様チェックされてみてはいかがでしょうか。